

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第123号	氏名	Sedliarou Ilya
学位審査委員	主査 関根 一郎 副査 上平 憲 副査 永山 雄二		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、甲状腺乳頭癌で1cm以下の所謂微小癌(PMC)における BRAF 遺伝子変異の頻度分析や生物学的挙動との関連の検討を行うとしたものであり、研究の目的は明確である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 甲状腺微小癌手術症例日本人15例、ロシア人31例計46例のパラフィン標本を収集している。DNA抽出、ダイレクトシーケンス、PCR-RFLP法と云った研究手法は妥当であった。</p>			
<p>3. 結果考察の評価 PMCにおいて BRAF 変異は約30%に検出されることを明らかにした。さらに組織学的に低分化成分を含む PMC で頻度が高いことを明らかにした。一方日本人とロシア人の間に差異なく、年齢、性や、リンパ節転移、甲状腺外浸潤、遠隔転移の有無と関連は見られなかった。本研究は成人乳頭癌に高頻度に見られる BRAF 変異の PMC における実相を明らかにし、甲状腺癌の発育進展機構の解明に大きく寄与したと評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は甲状腺癌進展機序の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			